

◆豚の冬期管理の留意点

豚は体温調節機能が劣っていることは以前、防暑対策でも述べましたが、できるだけ適温下で豚を飼うことが病気の予防につながり、ひいては生産性の向上を促します。

冬期管理の留意点は、防寒、換気、湿度となります。防寒、保温対策は、子豚の場合7日齢までは30度、45日齢までは22度を目安に行います。そのほかの豚舎は18～20度に近い温度にすることが必要です。対策を講じたなら、日中と夜間では寒さが違うので、夜の見回りをすることが必要です。防寒対策を重視するあまり換気、加温対策が不十分だと、AR、SEPなどの呼吸器病が発生しやすくなります。豚の住み良い環境整備は、あなたの任務です。